

こえに だして よみましょう。

二ひきの蛙 かえる ④

新美南吉 にいみなんきち

二ひきの蛙は、からだから泥土どろつちをおとすために、池いけのほうにいきました。

池いけには新あたしくわきでて、ラムネのようにすがすがしい水みずがいっぱいなたたえられてありました。そのなかへ蛙かえるたちは、とぶんとぶんととびこみ
ました。

からだをあらってから緑みどりの蛙かえるが目をぱちくりさせて、

「やあ、きみの黄色きいろは美うつくしい。」
といいました。

「そういえば、きみの緑みどりだってすばらしいよ。」

と黄色きいろの蛙かえるがいました。

そこで二ひきの蛙かえるは、
「もうけんかはよそう。」
といいあいました。

よくねむったあとでは、人間にんげんでも蛙かえるでも、きげんがよくなるものであります。

